

大震災・原発事故の教訓に真剣に向き合い

いのちと暮らしに寄り添う 新しい政治への転換をここ東京1区から

迎春

民主党政権3代目の野田内閣が消費税増税を宣言したもとの2012年を迎えました。みなさんはどうお考えでしょうか。

昨年は東日本大震災と原発事故に誰もが心を痛めた年でした。数多くの方々から救援募金や支援物資をお預かりし、私も宮城県石巻市や登米市などの被災地へお届けさせていただきました。改めて心からお礼申し上げます。

仮設住宅の方々自分たちだけでなく、親戚宅やアパート、県外に避難する方々にも物資が届くよう希望されるなど、お互いを気遣っておられたのが大変印象的でした。

福島県から母子で東京に避難、「お父さんとは週末しか会えない。自主避難なので自治体から援助の話はない」との声も。こんななか政府は「収束」を宣言し、原発推進予算を温存しました。TPPに参加すれば農漁業だけでなく雇用・医療・福祉にも致命的な打撃となり、日本人が大事にしてきた地域の絆、共同体を立て直す機会を失

いかねません。

昨年は保護者・関係者や地域の皆さんの「子どもを守れ」の声がありましたが、部分では政府や自治体を動かさず、部分では点や給食の放射線量測定も行われようになりました。私も1人の父親として、大変励まされています。

異常な政治の根本にはアメリカと財界いいなりの体質があります。私はここを正し、今こそ「いのちと暮らしを最優先の政治」をつくりたいのです。私は2009年に続き、東京1区から再び国政に挑戦します。一緒に、政治を本格的に転換する年にしようではありませんか。今年もどうぞよろしくお願致します。



成人式会場前で。約60人が要望を聞かせてくれました。「就職が不安」、「区立保育園をなくさないで」、「年金はもらえるのか」の3つが特に多い回答でした。(1月9日、新宿・京王プラザホテル前で)

富田なおき事務所の今年前半の法律相談日

TEL 03-3357-3392

- 1月20日(金) 4月20日(金)
- 2月17日(金) 5月18日(金)
- 3月16日(金) 6月15日(金)

原則として毎月第3金曜日に開催、弁護士が相談に応じます。事前にお電話でご予約ください。

午後6時30分から富田なおき事務所にて行います。
地下鉄都営新宿線曙橋駅から徒歩3分。



日本共産党衆議院東京1区国政対策委員長・若者相談室長

No.28 2012.1.29

発行：富田なおき事務所

〒162-0065 新宿区住吉町11-25

TEL 03-3357-3392

FAX 03-3353-4912

E-mail tomitanaoki.jimusyo@gmail.com



富田なおきの つながる通信

昨年中は大変お世話になりました 今年も新年から元気に始動



被災地へ

石巻市の仮設住宅で物資を運び（左写真）津波が事務所内のここまで達したとお話を聞きました（右写真、いずれも6月18・19日）



原発ゼロへ
原発撤退を求め
る「素人の乱」
デモに参加（写真
上、9月11日）、署名をお預かりし、笠井亮衆
院議員、田村智子参院議員に提出（写真下は牛
尾こうじろう区議団事務局長とともに千代田区
分の署名提出、11月24日）



今年も元日から

今年も地域の皆さんとともに、5年連続元日前零時から活動開始。20年以上続く港・白金の氷川神社前（左写真・右は星野たかし前区議）や新宿・穴八幡宮前（中写真・左は沢田あゆみ区議）の宣伝、40年以上続く千代田原水協の宣伝・核兵器廃絶署名行動（右写真・神田明神近くの聖橋前）で訴え初め。「去年もここで会ったね」と激励を頂きました。

消費税増税に「大義」はあるか？

安住淳財務相は15日、消費税率10%への増税だけでなく、「トータルで社会保障を抑制していく」（社会保障で）痛みを伴うものについてもやらざる

をえない」と繰り返し強調しました。フジテレビ系番組「新報道2001」での発言。「社会保障の維持・充実のための消費税増税」という政府宣伝は何だったのでしょか。2011年12月現在のデータ（日本共産党政務委員会まとめ）でも、消費税導入の1989年から2012年までの24年間の消費税収251兆円に対し、法人3税の減税は233兆円にのぼる見込み。文字通り庶民の血税で穴埋めしたことになります。野田首相が唱える「大義」とは、やはり財界の要求にしっかりこたえることのようにです。



蔵王スキー場で。息子はそり滑りや「かまくら」で大喜びでした

久しぶりやっていない雪かきも少しばかりしました。人生の第2ステージにさしかかった両親が、腰をいたわりながら毎朝雪かきをしているのはやはり大変だと痛感。「今年は雪が少なくて楽だ」と両親は口々に言っていました。が、温暖化の影響だと考えると複雑な思いでした。

福島県内で自営業を営む親戚は、住民が県外に避難するなどお客さんが減って大変だと言っています。東北地方の西側にある山形県は、幸い比較的少ない被害ですみました。「奥羽山脈が地震も放射能もくい止めてくれた」と言われていただけのことはあり、福島県からの避難者が今も山形に暮らしています。

富田なむきの へのへのもへ路 ⑪